

4 国学と民衆の思想

① 国学

(1) 目的… [1]道 を明らかにして、それを重んじる

日本固有の価値

(2) 手段… 日本の古典の研究

(3) 宣長以前の「3K」

1 [2]

2 荷田[3]—賀茂真淵の師

3 賀茂[4]—『万葉集』の研究

a 「[5]ぶり」(←高く直き心)を重視

益荒男

b 「[6]ぶり」・「[7]ぶり」を批判

手弱女

中国からの儒教・仏教

(4) 本居[8]—国学を大成

1 『源氏物語』の研究

a 学芸としての文学を主張

b 「ものの[9]」を重視

ex. 美しいものへの感動、他者の心情への共感

c 「[10]ぶり」も評価

(『古今和歌集』^{こきん} etc.に見られる)

2 『古事記』の注釈…『[11]伝』

a [12]ながらの道を重視

惟神

b まごころ = [13]心は○ ↔ [13]心は×

c 『[14]』…本居宣長の著した随筆集

(5) 平田[15]

1 国学を神学化… not 文芸 but 政治やモラル

2 [16]神道の完成

a 『古事記』の内容そのままを信じ、天皇に服従

神の子孫として至高の存在

b 「日本人」ナショナリズム→「尊王攘夷」の思想

MEMO etc.